

やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞

vol.180
2021.3

〔特集〕 青森市・浜館小学校

子供たちの「町探検！」 笑顔がいっぱい!

1・2ページ

お彼岸こぼればなし

春分の日のご先祖様に近づける!?

3ページ

忘れかけていたこの気持ち

あるお孫さんのお仏壇物語

4ページ

ABA（青森朝日放送）様主催

初売りイベント！緊張のテレビ初出演！

5ページ

お客様の声

6ページ

「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本

良きご縁をありがとうございます

7ページ



眠りから目を覚ました虫たちが…「啓蟄」



日本には一年を通して美しい四季がありますが、さらにこれを分けて二十四節気というものがあります。この中で春を6つに分けたうちの3番目にあたる節気が「啓蟄（けいちつ）」です。今年は3月5日～3月19日となります。言葉の意味としましては「啓」は「ひらく」、「蟄」は「土の中で冬ごもりする虫」だそうで、まさに読んで字のごとく「冬眠していた生き物たちが活動し始める時期」ということとなります。雪国育ちの私にはとてもわかりやすい季節の言葉です。

〔特集〕 青森市・浜館小学校

子供たちの「町探検！」 笑顔がいっぱい！



ショールーム課 佐藤江里子

こんにちは！毎日元気なショールーム・佐藤です。

3月に入り、待ち遠しい春までもう少しです。張り切っていきましょう！

小さな探検隊がやってきました！

昨年の秋のことですが、恒例となりました青森市・浜館小学校の元気な子ども達が町探検にやってきました。地域の会社を訪問しての学習見学です。

当日は天気にも恵まれ、まさに探検日和。子ども達、そして先生や見守りの保護者のお母さん達と大人数での探検隊です。今年はコロナ感染予防でみんなマスク着用ではありましたが、とても元気いっぱいでした。

まずは展示場を一巡り……。石のお墓はもちろん、ガラスのお墓、お部屋くらい大きいお墓、ベンチのあるお墓に興味深々。「上がってみていいよー」というと、上まで登ったり、両側に座ってみたり、触ってみたりととても楽しそうです。



「へえーこれもお墓なんだ〜」「このベンチに座っていいですか？」などなど、お墓の前で大はしゃぎです

子供ならではの質問にタジタジです



テーブルを囲んで、お墓の話で盛り上がりおられます。「どんな質問がいいのかな」・・・おてやわらかに（笑）

そしてひと段落ついてからはテントの中で質問タイムです。毎年、いろいろな質問を受けます。それでも同じ質問がないのにとっても感心します。事前に質問内容を教えてもらわないと、こちらの勉強不足がばれてしまいますね。

答えは短く的確に！これが私のモットーです。「何か質問はないですか？」

「どうしてキティちゃんを置いているのですか？」・・・なかなかの難問です。私も知りませんでした（笑）。答えはなんと「人目を引くから」だそうです。単純といふかなんとというか……。夏はアーチの下に、冬はショールームの入口に置いていますので、ぜひ見に来て下さい。

こんなデザインも注目されました

石見本の展示で、石の種類の高さをみてもらったり、所々に置いてある動物や、キャラクターの石を触ってみたり、お墓のデザインを見てびっくり！ などなど・・・あっという間の時間だったと思います。

なかでも注目されたのは・・・、話題になった「鬼滅の刃」でもおなじみの市松模様のすべり止めがデザインされているお墓です。大人気でした。



石の見本や石で作られた動物たちにも興味津々。最後はきちんと整理して「ありがとうございました！」



子供たちからの あったか～いお手紙です

コロナ禍でいろんな行事が中止されている中でも、こうして学区探検でやまと石材に来ていただけることは大変ありがたいことです。

皆さんの笑顔と暖かいお手紙は、私だけではなく、働くすべての人を元気づけているように感じます。この探検が皆さんの思い出に、少しでも残ってくれるとうれしいですね。本当にありがとうございました。

お彼岸こぼればなし

春分の日のご先祖様に近づける!?



こんにちは！青森店の佐々木です。

今年は豪雪に見舞われ、皆様も大変な思いをされたのではないのでしょうか。またコロナウイルスの心配も続く中、ますます春が待ち遠しい今日この頃です。

さて今回は、この時期ならではの話題ということで「お彼岸」についてお話したいと思います。

皆様ご存じのように、お彼岸は春と秋の年2回で、春分の日と秋分の日の前後3日間を合わせた7日間のことです。それぞれの「彼岸の中日」は国民の祝日となっております。でも春と秋では、同じお彼岸でも意味合いが違うそうです。祝日法によりますと、春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」、秋分の日は「祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日」と定められております。

また、中日には昼夜の長さがほとんど同じになり、太陽が真西に沈みます。仏教では西方浄土といい、西にあの世が存在するとされております。ということは・・・お彼岸の中日は「あの世」と最も距離が近くなる日と考えられました。大切なご先祖様と少しでも近づける日がお彼岸の中日ということで、それだけでも感謝の気持ちが湧いてきます。

※「彼岸」は「あの世」のことで、私たちの住む世界「この世」は「此岸（しがん）」と呼ばれております。

今年の春彼岸は3月17日から23日となり、20日が春分の日です。この日は自然をたたえ、生物をいつくしむとともに、ご先祖様に思いを馳せて西に向かって手を合わせてみてはいかがでしょうか。



忘れかけていたこの気持ち

あるお孫さんのお仏壇物語



ショールーム課 西村葉子

ある時、お孫さんが「うちの爺ちゃん優しいんだ」と自慢げに話していました。お孫さんが生まれる前に他界しているので、知るはずもありません。不思議に思って尋ねると・・・「写真だよ。婆ちゃんがナムナムするところに飾ってあるでしょ。いつもお菓子ちょうだいって、チーンってすれば爺ちゃんはいつも笑いながら「いいよ」って言うんだもん。優しいんだよ」

ある日いつもより長く仏壇に向かって、何かゴニョゴニョ話しかけているので「どうしたの？」と聞いてみたら「爺ちゃんにね、長生きしてねって話してたんだ」と・・・お孫さんの中で爺ちゃんの声はしっかり届き、今も生きているんですね。

線香をあげ、手を合わせることは習慣になっていますが、あまり語りかけていなかったなあと、この子から教えてもらったような気がします。

お仏壇には、お位牌とともに、ご先祖様を感じられる過去帳という物があります。先祖を偲び、故人を追悼するために生まれた過去帳とお位牌。お位牌がその方の魂が込められている、故人そのものと考えられていることに対して、過去帳はその家々の故人の戒名（法名）・俗名・没年月日などを記した、各家庭に伝わる系譜です。永続的にご家庭で守り伝えていきたいですね。



一度も会うことが出来なかったご先祖様でも写真と過去帳を見ながら、先のお孫さんのように、ご家族で故人を思い出してみてもいいのではないでしょうか？

ABA（青森朝日放送）様主催

初売りイベント！ 緊張のテレビ初出演！



弘前店営業部 伊藤杏美

こんにちは！弘前店の伊藤です。

気づけばもう3月…あっという間です。2020年から新型コロナウイルスが猛威をふるっておりますがまた以前のように元の生活に戻れることを願うばかりです。清々しい気持ちで桜の季節を迎えたいですね。

さて、今回私個人としましては、思い出に残る貴重な出来事がありましたのでお話ししたいと思います。

思い起こせば今年の新春初売り。おかげさまで大盛況のうちに幕を閉じたわけですが、その要因が、実は私だったのではないかと密かに思っております。その理由は・・・初売りに向けての宣伝として、ABA（青森朝日放送）様主催の「気になる！2021年初売り情報」という番組にインタビューを交えて出演させていただいたのです。ついに私もテレビデビューです！

初売りイベントの結果は、先にも述べましたように大盛況だったということで、「私のおかげ？」などと寝言のようなことを書いてしまいました（すみません）。でも実は・・・そんな強気な私でも出演することが決まってからというもの、夜も眠れないほど緊張しておりました。

先輩方からは「いい経験だよ、落ち着いてやれば大丈夫！」、「明るく、笑顔で頑張るって！」などたくさんの励ましの言葉を頂き、勇気づけられました。ありがとうございました。

そしてついに本番！何度も練習したセリフを何とか皆様にお伝えすることができたと思います。良かった～。一安心です。

コロナウイルスの影響もあり、お客様に来店していただけるのか…という不安がありました。しかし！おかげさまでたくさんの方にご来場いただき、お正月から盛り上がりました！本当にありがとうございました。



撮影クルーの方々も本番前に念入りにチェック。なんかカッコいいですね。

緊張を隠してインタビュアーの方と記念の一枚。ソーシャルディスタンスです。

お客様の声

やまと石材に大切なお墓づくりを託していただいたお客様からのおたよりです。本当にありがとうございました。



平内町 須藤様

お墓の石材も とても気に入っています

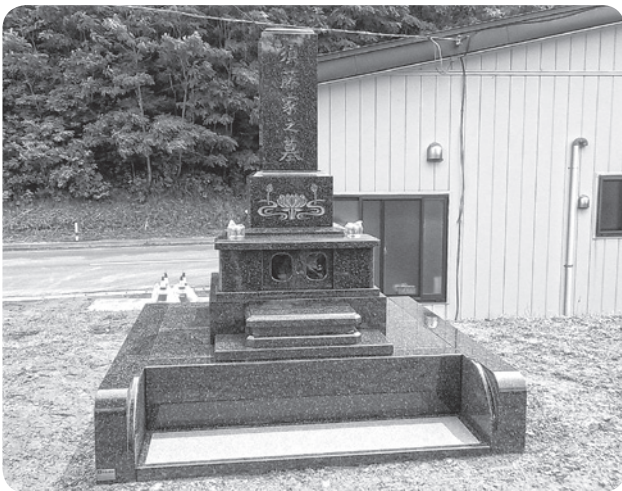
営業の平田さんにお世話になりありがとうございました。

平田さんはとても話しやすく、初めてでわからない事だらけの和室に親切でいいいに対応して頂き本当に助かりました。

笑顔も素敵なお方でした。

基礎工事の方も、工事の方も任事中に丁寧でいっても、親切に質問に答えて頂いたりしたので良かったです。

お墓の石材もとても気に入っています。良いお墓を作っていただきありがとうございました。



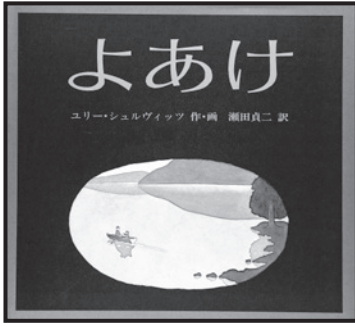
インド産の緑系御影石をお選びいただきました。和型の形と石の色が合い、重厚感のあるお墓が完成しました。

担当者からひとこと

須藤様、この度は数ある石材店の中から当店をお選びいただき、誠にありがとうございました。須藤様からいただいたお客様の声を見て、大変ほっとしました。今回、特に石の色にこだわってお建ていただきましたが、出来上がりにご満足いただき本当に嬉しく思います。今後も何卒宜しくお願いいたします。



青森店営業部 平田響子



「大切な人に贈りたい」
いつまでも語りつがれる絵本

「よあけ」

ユリー・シュルヴィッツ/作・画 瀬田貞二/訳

「おともなく」・・・
「つきがいわにてり、ときにこのはをゆらす。やまがくろぐるとしずもる」
湖の畔で、おじいさんと孫が眠っています。やがてそよ風が吹き、さざ波が立つと森の生き物たちが目をさまします。
おじいさんと孫も目をさまし、ボートで湖に漕ぎ出します。
そこで二人が見た光景とは・・・

中国の詩人、柳宗元の「漁翁」をモチーフに作られたこの絵本は、短い言葉と美しい絵で描かれています。大気・音・風・光・時の流れまでもが体感できる絵本です。

時々小さい子供たちの動きを見ていると、明るいほうへ、暖かいほうへと向かっているのがわかります。
その先にいるのはたいていお母さんです。その手に抱かれてにっこりと笑う子供たちの笑顔。その笑顔の中に子供たちの希望の光を見るのです。

ショールーム課・佐藤江里子

絵本の読み聞かせボランティアを続けて10数年。心に響く素敵な絵本を少しでも紹介できれば幸いです。



良きご縁をありがとうございます

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|-------|----------|------------|-----------|---------|-------|----------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-----------|-------|------------|--------|--------|----------|-------|-------|-------|--------|
| 青森市旭町 | 青森市浪岡吉野田 | 青森市矢作 | つがる市木造宮井 | 西津軽郡深浦町追良瀬 | 東津軽郡平内町口広 | 弘前市富士見台 | 青森市沖館 | 岩手県滝沢市穴口 | 青森市新城 | 青森市油川 | 青森市駒込 | 弘前市桜ヶ丘 | 弘前市和泉 | 黒石市西ヶ丘 | 東津軽郡平内町中野 | 青森市富田 | 千葉県八千代市萱田町 | 弘前市浜の町 | 弘前市松原東 | 上北郡東北町大浦 | 弘前市山崎 | 青森市沖館 | 青森市浦町 | 青森市八重田 |
| 吉川様 | 木村様 | 三上様 | 竹内様 | 木村様 | 田中様 | 森谷様 | 金澤様 | 近江様 | 池田様 | 伊丸神様 | 相澤様 | 浅利様 | 大溝様 | 工藤様 | 川村様 | 佐藤様 | 三上様 | 中村様 | 市川様 | 齋藤様 | 柿崎様 | 鎌田様 | 佐々木様 | |

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。

ご意見・ご感想・質問どんなことでもお便り下さい。

Landwork 日本最大36店舗の
墓石専門店グループ



【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388
【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com 青森 やまと石材 検索

〒036-8076

弘前市境関1-1-1
(株)やまと石材(弘前店)
やまと通信係

〒030-0946

青森市古館1-13-13
(株)やまと石材(青森本店)
やまと通信係

編集後記

私の趣味は音楽鑑賞なのですが、実は事務所内に流れる音楽は私がセレクトしたものばかりです。やまと通信の編集も含め、難しい顔をして様々な仕事をしておりますが、心の中はノリノリです。私だけの特権ですね。(佐々木)